

を高めてもらうために、本年度から高齡者大学講座を七月、県下に六講座（菊池、鹿本、球磨、天草、阿蘇、八代）開設しました。

この講座は六十五歳以上の高齡者を対象に一講座五十人以上で年間三十六時間の学習活動を行います。

講座内容は趣味を中心としたもので、俳句、短歌、詩吟、園芸、茶道、生花、手芸等です。

社会教育指導者研修の充実

この事業は県や市町村における行政機関の指導者のほか、団体や民間有志指導者に対する研修の機会や場を提供し、資質の向上と量の確保を図ることをねらいとするものです。

(1) 社会教育関係職員研修

地域における社会教育振興の中核となる市町村社会教育関係職員を対象に六月と十一月、天草青年の家で実施します。

(2) 婦人教育指導者研修

市町村の婦人学級、婦人団体の有志指導者に対し、婦人教育活動を企画、実施するに必要な知識・技術を習得するため八月と十一月阿蘇青年の家で実施します。

(3) P T A指導者研究会

P T A指導者を対象にP T Aの主催事業等のあり方について、幼稚園四会場、小中学校二十一会場、高校

四会場、七月から十一月の期間に実施します。

(4) 視聴覚教育指導者研修

視聴覚教育の推進を図るため、小学校関係者二講座、中学校関係者一講座、社会教育関係者一講座を県立教育センターで実施します。

(5) 青少年団体指導者研修

青少年教育関係者に必要な基本的態度および知識・技能の習得を図るため二泊三日の研修を青年の家を利用して六回実施します。

青少年の健全育成

次の世代の担い手である青少年が、心身ともに健やかに成長するよう県では①豊かな人間づくり ②たくましい体力づくり ③明るい環境づくり ④楽しい仲間づくりという四本の柱をたてて総合的に「青少年健全育成」にとりくんでおります。

青年の海外派遣事業

九州青年の船

九州各県の青年を「青年の船」に乗船させ研修及び規律ある団体生活を通じて、心身を鍛練し、次代をになう青少年を健全に育成しようとするもので、昭和

四十七年度から「九州は一つ」の合言葉のもとに、九州各県が協力しあって実施しているものです。

今回の四十九年度は、中国を訪問し、中国の青年との交流を深め、日中友好のきづなを更に深めようと計画され、九月上旬から約二週間の予定で実施されます。

総理府が実施する青年の海外派遣

九州青年の船事業の他に国が実施する海外派遣事業に熊本県から多くの青年を推せんし、ヨーロッパや、東南アジア、中南米、北米等に派遣しています。

環境浄化推進体制

少年の非行は、年々低年齢化の傾向にあり非行の原因に、社会環境の及ぼす影響が大きくなっています。県では、昭和四十六年に少年保護育成審議会を設置し、映画、出版物等の審査や、有害指定等を行い、少年の非行防止に取り組んでおります。

また、少年をとりまく社会環境の浄化を促進するための地域懇談会等を実施し、県民の意識高揚にあたっています。

県立天草青年の家

青年の家は、青年の団体が集団宿泊研修を通して、自主的な学習活動をうなが

自然との交歓と環境整備

- 菊池溪谷「野鳥の森」
- 南阿蘇外輪山自然歩道
- 南阿蘇国民休暇村
- 国民休養地
- 青少年旅行村
- 小岱山森林公園
- 雁回山憩の森
- 大規模自転車道

菊池溪谷「野鳥の森」

自然の中で野鳥に親しみ、自然の恵みの偉大さに触れて、自然保護への思いを新たにしたい。ため、県は、去る五月、菊池溪谷に野鳥の森をオープンしました。

ここは、阿蘇国立公園、くまもと自然休養林の一角で、ブナ、カエデ、モミなどの大木が生い茂り、豊かな溪流の水は清く、野鳥達にとっては恵まれた生息環境となっております。

コガラ、アカショウビ、トラツグミなど二十科、六十一種の野鳥が生息しています。この野鳥の森は、昨年、国の補助を受け、

全国に先がけて設置したもので、野鳥の森にふさわしい当地域の国有林八十ヘクタールを借り受けて、野鳥の繁

し、青年相互の交流をはかり、社会連帯性を助長するための施設です。利用できる人は、勤労青少年、学生又は高等学校生徒、社会教育関係者の人々で、宿泊をともなう適正な研修計画をもつ五人以上の団体となっております。

少年自然の家

近年の急激な都市化や核家族化、交通戦争等の社会構造の変化は少年たちから自然との接触やスポーツ、遊びなどを奪いつつあります。

少年自然の家は、このような現状にある少年たちを自然に親しませ、二・三泊程度の集団宿泊生活を経験させて、その情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練して健全な少年の育成を図ることを目的としています。

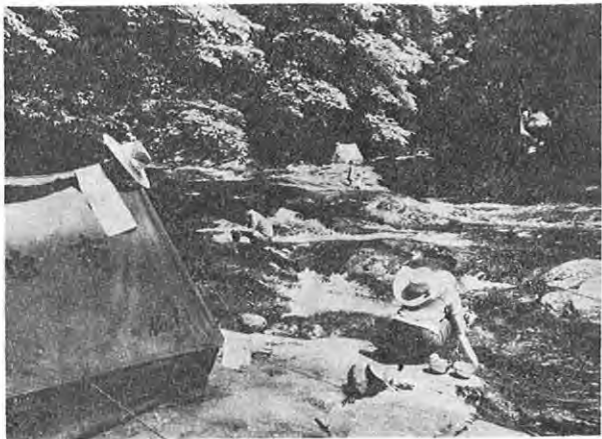
本県でもこのような目的にそって、いま、菊池市大字原字堂床の約六万八千㎡の敷地に施設設備の形状や配置を自然と調和させつつ、四十九年十二月完成の予定で工事を進めています。

建物は鉄骨平屋建て約二平方メートル（本館棟、宿舎棟、雨天遊戯棟等）。宿泊定員二百人。野外施設としては広々としたキャンプ場やつどの広場、大宮火場、野鳥森、野外ステージを設けることになっております。雨天遊戯室にはパレオコート、バトミントンコート、卓球

殖に必要な施設や、自然にひたりながら野鳥の生態を観察するための施設として、探鳥路、観察小屋（一棟）、東屋（三棟）、タチバナモドキ、イヌツゲなど実のなる木の植栽、菓箱、案内板、野鳥の姿図板、導標などを設けております。菊池から大観望にぬける菊池阿蘇スカイラインを通り、菊池水源の入口である掛幕の橋で自動車道をそれ、溪谷沿いの歩道（旧県道）を上流に歩いて約二十分、溪谷の周囲がやま開けたところに休憩所、キャンプ場などが見えてきます。ここは、広河原と呼ばれ、自然休養林の施設が色々と設けられています。このあたりから対岸にかけてうっそうと茂る原生林が上流へと連なっていますが、ここが野鳥の森です。

案内板に誘われて広河原のつり橋を流ると、歩道は森の中の探鳥路へとつながります。落葉の積った幅二メートル足らずの小路は、上ったり、下ったり、樹間をぬい、自然をそこなわいように配慮したため、かりにも歩き良いとは云えませんが、アスファルトでは味わえない感触が足につたわってきます。二十分程度最初の東屋があり、小路は、上と下に分れています。どのコースを歩いても約十分程度で次の東屋があり、更に足を伸ばせば、約二十分程度で観察小屋まで行くことができます。

観察小屋の周辺には、野鳥の好む実のなる木がはえており、樹々には菓箱が掛



自然との交歓は最も人々の心をなごませ、子供達の情操教育には欠くべからざるものがあります。県では、自然の環境整備を積極的に進め、県民に広くご利用願いたいと各地にいろいろな施設を整備しております。ご利用下さい。